

慶應義塾大学 SFC研究所



「未来の知」を産官学と一緒に創造する

大学教員には担当する授業を教える「教員」としての顔と専門とする研究を行う「研究者」としての顔があります。もちろん我々教員は「半学半教」という福澤先生の教えのもとで、日頃の授業のなかで学生から指摘される新たな視点を得ることも多く、それは研究にも活かされています。

SFC研究所は後者の研究者としての我々、大学院政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の教員を支える組織です。公的資金や民間資金を原資とする研究活動だけでなく、あらゆる研究活動はこのSFC研究所を通じて社会とつながっています。

1996年の発足以来、専任教員だけでなく特任教員・上席所員・所員、さらには世界トップレベルの研究者である卓越所員ら、総勢900名余りを擁する組織へと発展してきました。研究体制としては、「ラボラトリ」（先端的研究ミッションを持つ横断的な研究グループ）、「SFC研究コンソーシアム」（SFC研究所と複数の外部機関によって展開される共同研究）が存在し、日々新たな知の創造をめがけた活動を行っています（2025年10月現在、ラボラトリは28団体、コンソーシアム29団体が活動中）。毎年、研究成果を一般に公開するSFC Open Research Forum (ORF) は回を重ね2025年には30回を迎えました。SFC研究所はこのORFをはじめとしてキャンパスで生み出された新たな知を対外的に

広報し、さらには研究活動で生じた知的財産に対する支援やインキュベーション支援も行っています。

二研究科・三学部を擁するSFCが網羅する研究領域は幅広く、そのことは社会でも認知されてきました。SFCならではの強みは、それらの異なる研究領域を横断することによって生まれる相乗効果にあります。SFC研究所は、その強みをさらに広く周知するべく、今後も邁進してまいります。

産官学と協力しながら喫緊の社会的課題の解決に向けた研究とともに、まだ誰も気がついていない遠い未来に起こるであろう課題について取り組む研究、すなわち「未来の知」の創造、世界最先端の突き抜けた研究が生まれる土壌づくりをSFC研究所は目指したいと思います。

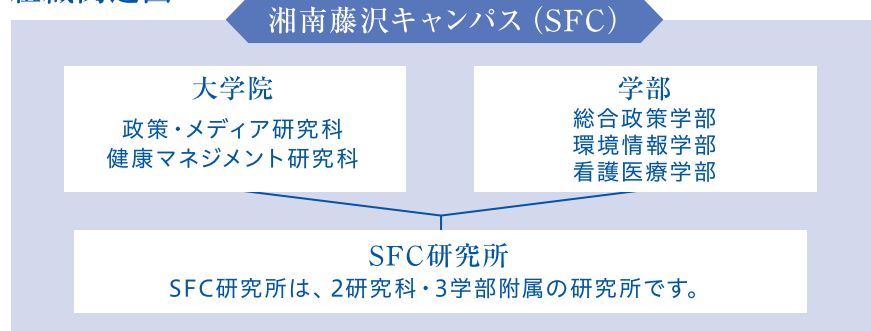
今後ともご支援のほど、宜しく願い申し上げます。



慶應義塾大学SFC研究所 所長
〈政策・メディア研究科 教授〉
〈環境情報学部 教授〉

仰木 裕嗣

組織関連図



慶應義塾大学

SFC研究所とは

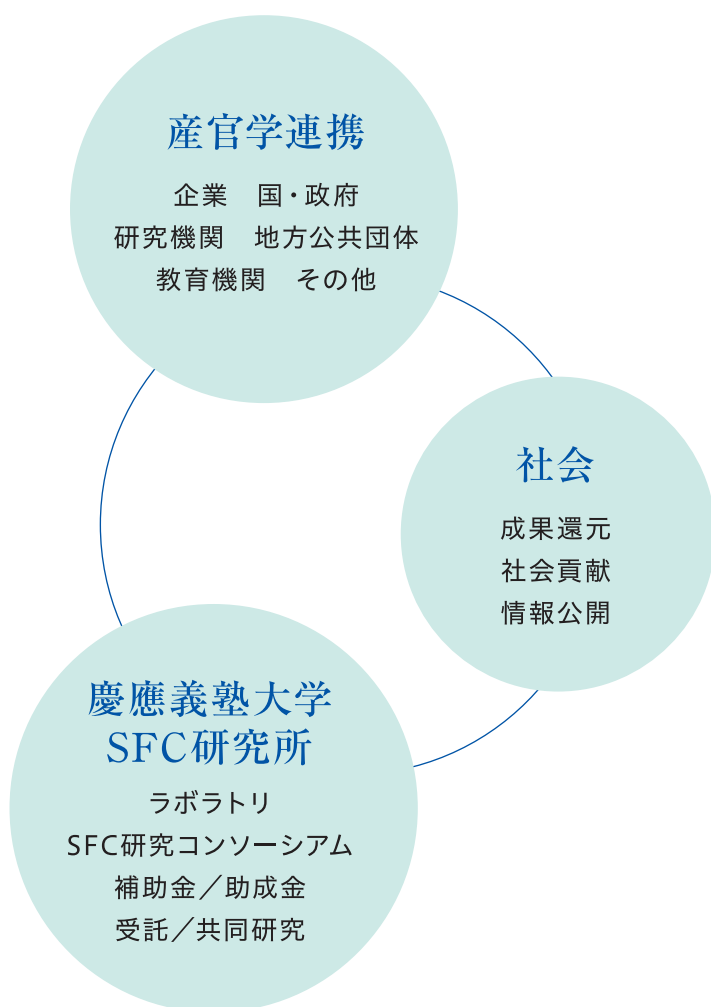
<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>



SFC研究所は、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の付属研究所として、1996年7月の発足以来、21世紀の先端的研究をリードしてきました。

諸科学協調の立場にたって国内外のさまざまな関連活動と双方向の連携をとりながら先端的研究をおこない、社会の発展に寄与することをその目的としています。

研究体制



ラボラトリ



<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/>

ラボラトリは同じ研究テーマを持つSFC研究所内の研究者によって横断的・融合的に構成される組織です。国内外の企業や研究所、国、地方公共団体、他大学などとの研究交流を促進することを目的としています。

※SFC研究所のウェブサイトでは「SDGs：持続可能な開発目標」を活用し、各ラボラトリが主として貢献する目標ごとに整理し紹介しています。

SFC研究コンソーシアム



<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/consortium/>

大学が中心となって研究テーマを設定し、企業や政府などの外部の複数機関へ共同研究を呼びかけ、「相互利益」を前提に、大規模な課題に領域を超えて取り組む仕組みです。従来の共同研究に比べ、はるかにスケールが大きく、複数の学問領域を横断する総合的な研究が可能です。

受託／共同研究

企業や国、地方公共団体などの外部機関と個々に契約し、委託、あるいは共同で、研究を行う研究形態です。研究内容は、委託者の要望に沿って決定され、個々のニーズに合った研究を行うことが可能です。

補助金／助成金の活用

政府・公的機関や民間団体が行う支援事業にもとづいた研究活動を行っています。文部科学省が高等教育の活性化や国際競争力のある大学づくりを目的として行う支援事業や、特定分野の問題解決や認知度の向上のために民間団体が行う支援事業など、複数の大型プロジェクトに採択されて研究を進めています。



SFC Open Research Forum (ORF)

SFCでは、その研究成果の社会への還元を自らが果たすべき重要な社会的責任の一端と考え、研究活動成果を広く社会に公開する場として、「SFC Open Research Forum (ORF)」を毎年開催しています。この研究発表イベントでは、SFC研究所で実施している様々な研究プロジェクトの現状と将来計画を、展示やセッションなどを通して、産業界・国・地方公共団体・学会等に広く紹介しています。



ベンチャー・インキュベーション支援

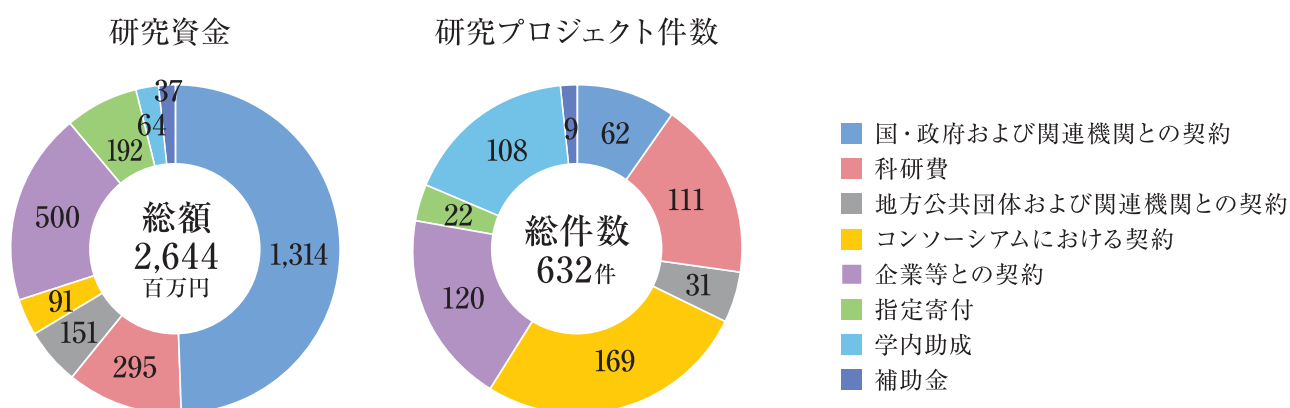
慶應藤沢イノベーションビレッジ

<https://www.smrj.go.jp/incubation/sfc-iv/>



新事業の創出・起業に取り組む方を支援する場として、慶應義塾と中小企業基盤整備機構、神奈川県、藤沢市の共同で運営している慶應藤沢イノベーションビレッジを設置しています。SFCの持つIT、バイオテクノロジー、都市デザイン、社会制度設計等の知見を活用し、かつ慶應義塾大学と連携して起業を目指す方を対象としたオフィスです。

データから見るSFC研究所の研究活動（2024年度）



最新版はこちら▶

<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/about/statistics/>



慶應義塾大学SFC研究所

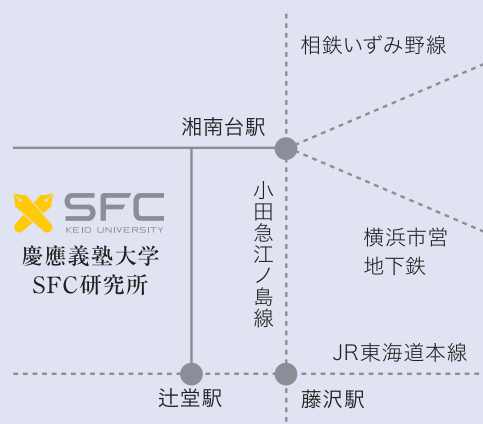
〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室
学術研究支援担当

E-mail: info-kri@sfc.keio.ac.jp

小田急江ノ島線・相鉄いずみ野線・
横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台」駅 下車
西口よりバス「慶応大学」行き 約15分
「慶応大学本館前」下車

JR東海道線「辻堂」駅 下車
北口よりバス「慶応大学」行き 約25分



<https://www.sfc.keio.ac.jp/maps.html>



SFC研究所へのご支援をお考えの皆さま

SFC研究所は、産官学金民の多彩な訪問研究者とともにプロジェクトを編成し、国内外を問わず力を結集して、オープン・イノベーションを推進するプラットフォームです。真の未来を先導する「研究」を行うために、皆さまのご支援が不可欠です。

ご支援の方法には、以下の4種類があります。

- SFC研究コンソーシアムへの参加
- 受託／共同研究の実施
- ORFへの協賛
- 寄付の申込み

詳しくは、info-kri@sfc.keio.ac.jp までお問合せください。